

～年長者を思いやり、地域で支えあう地域づくりを目指して～

## 認知症のことを通して思いやり助け合いの心を学ぼう！！

日本は今、超高齢化社会を迎えております。うるま市でも同様に高齢者数が増加しています。それと並行し認知症の方の数も増えており、メディアなどで認知症のことが特集され注目を集めるようになってきました。平成 37 年には認知症の人が 700 万人前後となり、その割合は 65 歳以上の5人に1人とさらに増加すると予想されます。認知症は既に他人事ではなく、年を取れば誰にでも起こりうる身近なこととなっており、また小・中・高・大学生等にとっても身近な方が認知症になるということが考えられます。小・中・高・大学生等が認知症を学ぶことをきっかけとして認知症を身近なこととしてとらえ、正しい接し方を学び、地域の高齢者と出会い・つながり・ふれあうことで思いやりや助け合いの心を育むことを目指します。

認知症のことをわかりやすく学ぶ方法として、認知症サポーター養成講座があります。

### 認知症サポーター養成講座を実施してみませんか？

#### ★認知症サポーターの活動とは？

【例えばこんなこと】

- ・友人や家族にその知識を伝える
- ・日常生活の中で(買い物、帰宅途中、散歩中など)できる範囲で手助けをする。
- ・認知症の人やその家族の気持ちを理解するように努める。

#### ★認知症サポーター養成講座

##### 講師

講師研修を受講したキャラバン・メイトが講師となります。市役所や介護事業所職員、地域のボランティア等が中心です。

##### 内容

認知症とは？ 認知症を理解するには？ 認知症の方への正しい接し方は？ 私たちが地域でできることは？

※60～90 分の基本カリキュラムはありますが、内容、時間を受講者に合わせて行います。

##### 教材

標準テキストがありますが、担任の先生とキャラバン・メイトが受講者に合わせて検討することも可能です

※小中学生用のテキスト、DVDもございます。

##### 開催場所

学校、集会場など



##### 申し込み方法

別紙の「認知症サポーター養成講座開催申込書」に必要事項を記載の上またはFAXで送ってください。

### 認知症サポーター養成講座で子供たちの意識が変わります

#### ～小学生の場合～

- ・認知症は脳の病気ということがはじめて知った。
- ・認知症の人がいたら手伝いたい。
- ・今までは「この人何しているんだろう？」と思って知らんぷりし



ていたけどやさしく声をかけたい。

#### ～中学生・高校生の場合～

・認知症の方の接し方の違いで症状のあたりなどがあることがわかった。正しい接し方を学べてよかった。今後に生かしていきたい。

・自分の祖父が認知症だが対応の仕方で困ったことがあった行動には理由があるので思いやりを持って接していきたい。

・進路として福祉系の仕事をしたいので、学んだことをいかしていきたい。

※生徒以外に保護者にもPTAなどで…学校・家庭・地域を考えるテーマにしませんか？



### 認知症サポーターとしてさらに学びを深めることも……

講座を受講後、昆布地区で実施した認知症高齢者等搜索模擬訓練(認知症が原因で道に迷い、家に帰れなくなってしまった方を地域の方々と一緒に搜索し、声掛け体験を行うものです。)にも参加しました。

★認知症を学び、「思いやりの心」を学ぶとともに子供たちと地域をつなぐ！！



#### ●問い合わせ

うるま市介護長寿課地域支援係  
TEL : 098-973-5112

